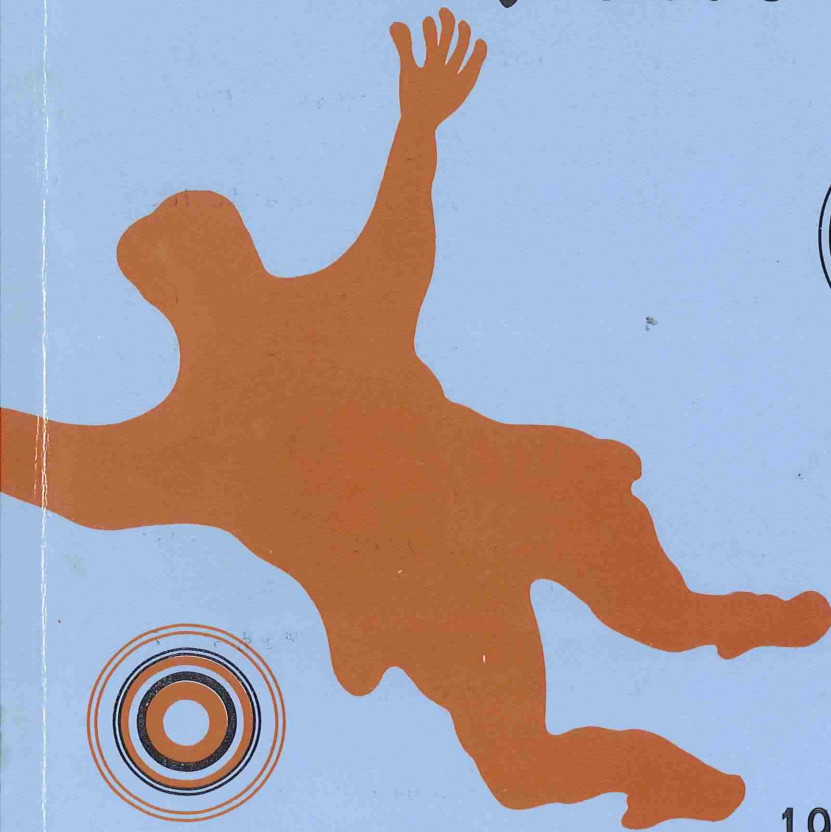




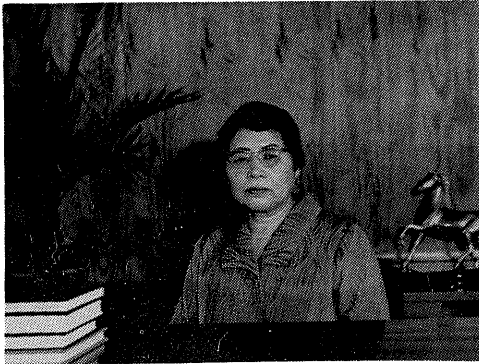
*Festival
in
Autumn*



第 3 回

1968 · 11 · 11-17

関西外国語大学・短大



第3回外大祭を迎えて

学長 谷本多加子

枚方に学舎を開設してから3回目の外大祭を迎えることになった。

今年は去年に比べて開期が更に2日多くなった。回を重ねるにしたがって益々内容が充実し、多彩な祭典がくりひろげられるようになったことは洵によるこぼしいことであると思う。

関西外語23年の歴史を振り返ってみるに、その学風は次の私の3つのモットーによって培われてきたと思う。即ち人の和・誠実・信念である。

人の和 — 人間の建設的な集団活動には絶対不可欠である。クラブ活動においても、「和」の精神や「チーム・ワーク」がなければ決してそのクラブは発展しないことは皆さんすでに体験済みのことと思う。こと大学造りであるならば尚更のことである。

誠実 — 人間関係において誠実ほど大切なものはない。日々誠実な態度で事を処理してゆけば、そこには自然と心がふれ合い信頼関係が生じてくるものである。

信念 — われわれはこの世に生を享けたからには、何か世のため人のためになるような仕事をすべきである。これを基調とした強鞏な信念の持主になるべきである。

この3つのモットーは洋の東西を問わず、イデオロギーを超えて普遍的な妥当性をもっている。昨今多くの大学でいろいろの問題が起きているようであるが、すべて人間関係における不信感から発しているように思える。まったく悲しいことである。

関西外大が良い大学として漸く社会の注目を浴びつつあることは心強いことであるが、この外大祭の諸行事を通じて教職員及び学生が一体となって、その創意と努力の結集によって、より高い学風と伝統の樹立に向って前進していただくことを切に願う次第である。

そして、この第3回外大祭が、皆さんの青春時代の良き思い出として、いつまでも記憶に残るような有意義な祭典であるよう祈ってやまない。

目 次

- ◇ 挨拶 P.1
 学長・学生部長・学友会会長
- ◇ 外大祭日程表 P.4～7
- ◇ 前夜祭案内 P.8
- ◇ 体育祭プログラム P.9～12
- ◇ 学校案内及び展示会場 P.13～15
- ◇ 展示案内 P.16～21
- ◇ 模擬店案内 P.22～23
- ◇ 文化祭アトラクション案内 P.24～33
- ◇ クラブ紹介 P.34～42
- ◇ 学 園 歌 P.43
- ◇ 本学への案内図 P.44
- ◇ 外大祭役員

全 日 程

11月11日(月)	前 夜 祭	6:00 - 8:30
11月12日(火)	体 育 祭	9:00 - 5:30
13日(水)	体 育 祭	9:00 - 5:30
11月14日(木)	文 化 祭	9:30 - 5:00
15日(金)	文 化 祭	9:30 - 5:00
16日(土)	文 化 祭	9:30 - 5:00
17日(日)	文 化 祭	9:30 - 5:00
	後 夜 祭	5:30 - 9:00

大 学 祭 催 物 一 覧 表 (於 講 堂)

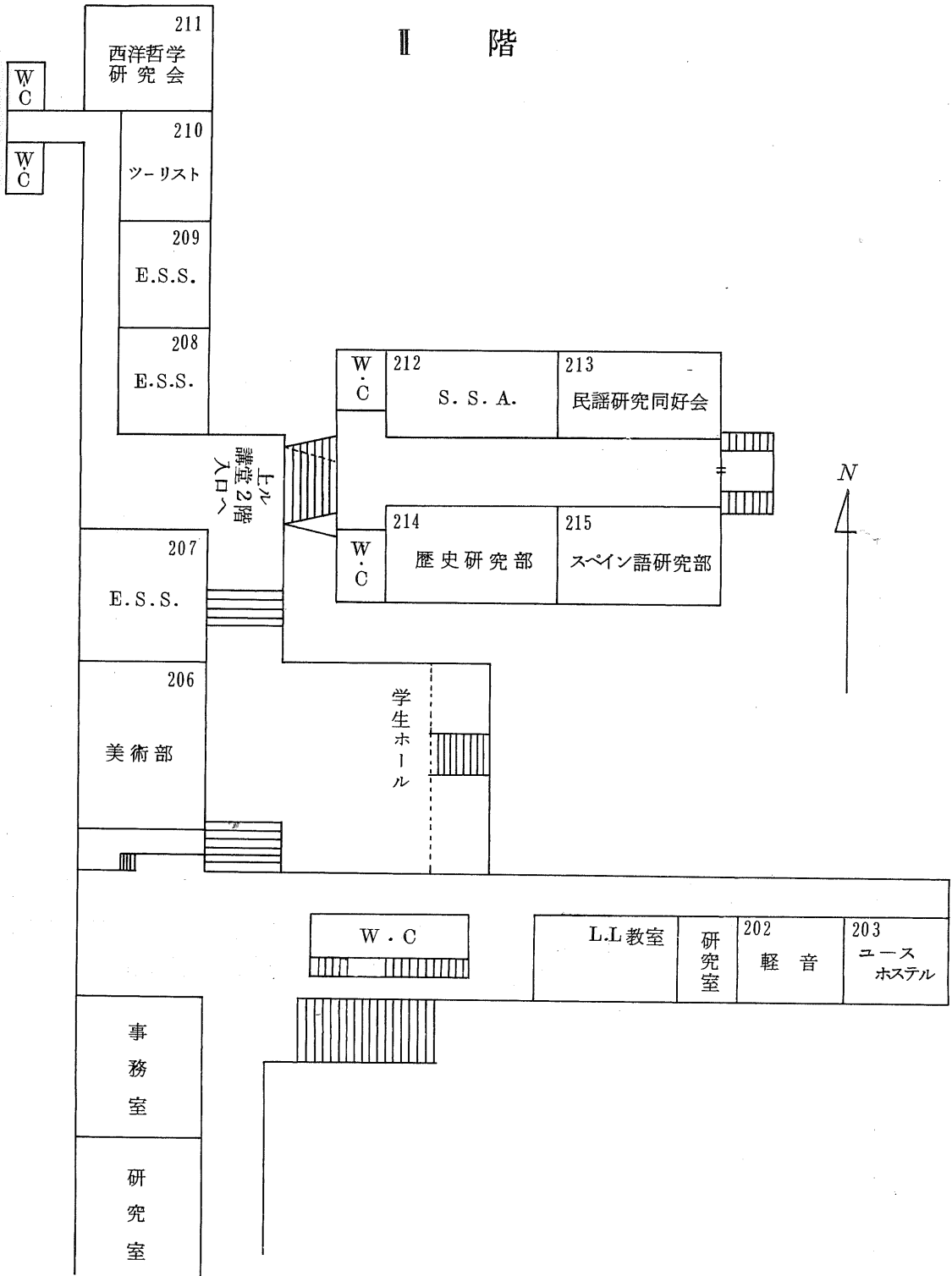
時間 曜日	9:00 A.M.	10:00	11:00	12:00 P.M.
14 (木)		英語・スペイン語弁論大会		挨拶
15 (金)		英 語 弁 論 大 会		ボディビル部
16 (土)		軽音楽部 (ハワイアン)	講 演 (I)	箏曲部・尺八同好会
17 (日)		クラシックギター部	講 演 (II)	軽音部 (ウエスタン)

1968年11月14日(木)～17日(日)

1:00	2:00	3:00	4:00	5:00
マンドリン部	コーラス部	文芸部	スペイン語会話部 (P.H.E.)	
軽音楽部 (ブルースターズ) (レディーバーズ)	民謡研究部		ダンス部	
アウトサイダーズ	演劇部		軽音部 (モダンジャズ)	ユース ホステル部
E. S. S.	軽音楽部 (ブルースターズ) (レディーバーズ)	映画研究部 「シェルブールの雨傘」		

(備考) 控室 …… 「会議室」を使用
 後夜祭は 5:30 P.M.より開始
 講堂責任者 …… 舞台運営委員

Ⅱ 階



※ E. S. S. ※

我がE.S.S.は、現在部員数300余名を誇る大家族であります。E.S.S.という名のもとに部員全員が毎日英会話上達を旨として頑張っております。現在5つのセクションに分かれており、毎日の活動内容はセクションにより異なりはしますが、その目ざすところのものは同じであり、E.S.S.発展のため全員一丸となって努力しています。今年も小豆島における夏季合宿、及び米学生交歓会等において多大な成果をあげることができたと思っております。

さて、今年の大学祭においては「日本とアメリカ」という主題のもとに各セクションが各々の特色を生かし、皆さんに紹介、説明致します。

Guide & G. I. Sec. (207 教室)

「日本の風物誌」について教育の中に約10程の大表的なものを組み立て、楽しく説明致します。

Discussion Sec. (209 教室)

「日本問題についてのオープンデスカッション」

1. 交歓学生の意義
 2. 日米の大学教育の差異
 3. 日米の家族制度の差異
 4. 日米の選挙制度の差異
- etc.

Speech Sec. (209 教室)

日米諸問題に関するSpeechとRecitation等。

Pronunciacion Sec. (208 教室)

外来語、発展の図解、発音の変遷等についての展示及び説明。

Drama Sec.

講堂においてギリシア劇「アンチゴネ」上演

以上の他に「アーカンソー大学生交歓風景」クラブ紹介のスライド、及び写真展示を行なっています。

我々E.S.S.は、本年もきっと皆さんに満足していただけることと思っております。

※ ツーリスト ※

交通機関の発達、及びレジャーブームの波にのって、「旅」程急速に普及したものはない。しかしながら、旅と呼ばれる大半は観光旅行(TOUR)であるが、我がクラブはこのような観光地巡り中心の旅行に満足せずに、もっと幅広い意義深い旅を行なっている。すなわち、生来の肢体を酷使して野を歩き、山に登り、自然美・秘境を訪ね、経験・チームワークを通じて自己の肉体・精神を養おうというのが、当クラブの目的・方針である。本クラブをもっと理解しやすく述べると、今日「ワンゲル」といえば、山岳一辺倒のクラブと思われ勝ちであるが、野山・平原を歩く「ワンゲル」本来の姿に戻そうと努力をなすクラブと解釈してもらって結構である。以上の方針の下に、佐渡にて、夏季合宿を行ない、その成果を、今大学祭において佐渡観光、及びその秘境を写真・スライド・各種資料を用いて発表するので御覧願いたい。尚、現在、当クラブは1年生を対照に部員募集中である。「ワンゲル」に興味を持ち、又、当クラブの主旨に同意の男性諸君の入部を期待している次第である。展示室、及び部室で受付をしている。

207

209

210

※ 西洋哲学研究会 ※

我々西洋哲学研究会は真に哲学を志す者の集まりである。哲学によって我々は人生観・世界観に於ける問題の究極の根本原理を求め事物をはっきりした原理に基づいて理論的に整理し、人間として信念を持った人生を送りそれと共に会員同志の親睦を計ることを目的とする。

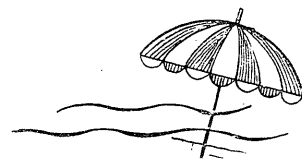
この度我々はその主旨に従って人生観・人生哲学を主として催しを運ぶのである。内容としては徳川幕府300年の後、幕末に於ける我々と同年代の青年達が封建制度脱皮を目的とし、その混乱の世に於いて、人間生存の上にも最も何に対しても最盛期である青年達が真に誠を見つめ、その荒波に対抗しながら、人生を過していったその姿を哲学的見地から見る。幕末に生きた数人の青年の人生観を描くことによって現わしたのである。

我々研究員は、いろいろな経験を通じて分析・討論することで社会・人文科学などに適する研究を続けて我々の思想の糧にしたものである。幾多困難な思想に真っ向からぶつかって取りくんでこそ、ともしれば自らを失いかちな青年期の我々に必要なのである。

211



模 擬 店



クラブ名	教室	内 容
P . H . E	1 0 2	ラテン喫茶
軽 音 楽	2 0 2	音楽喫茶
貿 易 実 務	1 0 3	喫 茶
ダ ン ス	1 0 8	模擬ダンスホール
ア ー チェ リ ー	3 0 5	バラ寿司・いなり寿司・おでん・サンドウィッチ
映 画 研 究	1 0 1	お茶漬け
ギ タ ー	3 1 0	音楽喫茶
民 謡 研 究	2 1 3	フォーク喫茶
美 術	2 0 6	わたがし・コーヒー・紅茶・サンドウィッチ・ジュース
歴 史 研 究	2 1 4	民芸茶屋(みたらしだんご・栗めし)
S . S . A	2 1 2	SNUCK ROCKY (ポップコン・特製ホットドッグ) ホットケーキ・飲物
野 球	1 1 0	喫 茶
E . S . S	テ ン ト	おでん・おにぎり・ぜんざい・ミックスジュース
速 記	テ ン ト	スパゲティー・ぎょうざ・飲物
コ ー ラ ス	テ ン ト	おにぎり定食・甘酒

E . S . S

"ANTIGONE" by Sophocles

Characters

Chorus; Ryuichi Yamamoto, Yoshiki Hashimoto,
Kiyoko Kameoka, Keiko Yamamoto,
Makoto Morita, Hiroko Sakabe

Antigone Chizue Hagiya

Ismene Noriko Ishiyama

Creon Yoshitaka Kawabata

Haemon Kan Akita

Eurydice Masuyo Nishihara

Sentry Kazuyuki Ito

Tiresias Toshiaki Ohmi

Messengers Yoshibumi Takayanagi, Takayuki Irie

Director Mieko Kōhsaka

Adviser Prof. Coy Conner

Staff

Stage Settings

Akira Uebayashi, Ryoichi Honda, Yoshihiro Suzuki,
Yoshiaki Tsuchiyama, Shigekazu Toda, Yohichi Yozaki,
Eiichi Minamimura, Yoshihara Iwata, Naofumi Kamei
Shūzo Manda

Sound Effects

Hiromu Yasuhara, Akira Mizuno

Costumes

Etsuko Yagi, Yuki Koyama, Harumi Takahashi,
Kumiko Nagata, Miyoko Endo, Eiko Aoyama,
Yoshie Takatori, Hosotani

Lighting Effects

Nogichi, Murashima, Aono

